

# 委員会報告

## 平成23年度予算を可決

### ―予算審査特別委員会を設置し審査―

平成23年度の一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、本定例会初日に議長を除く議員25人で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、採決の結果、いずれも原案可決となりました。

一般会計予算では、次の事項について、特に質疑を行っています。

#### ◎情報通信施設管理運営事業 (質問)

NTT東日本とのIRU契約

### 予算審査特別委員会



渡辺副委員長



伊藤委員長

約において、災害時に市民負担はないのか。

#### (回答)

今回の契約内容は、NTTが行っている全国どこでも同じ基準によるものであり、光ファイバーケーブルについては市が保険を掛けるが地震は対象とならない。大地震災害については、激甚災害の場合は国の災害復旧費の対象となる。

#### 【委員会における意見の集約】

IRU契約に際しては、一般の東北関東地方で発生した大震災の状況を鑑み、地震災害発生時の復旧費用について、保険、国・県の災害復旧補助金などの制度調査を詳細に行った上で、NTT東日本との間で、市民負担を最小限にとどめる内容の契約を行うこと。

#### ◎ごみ処理施設管理運営費 (質問)

炭化物処理等委託料について、なぜ市が負担しなければならないのか。当初は売れると

いうことではなかったのか。

#### (回答)

清掃センター計画・建設時にメーカー側の提案があり、協議して取り決めをしている。協議の詳細な経緯については、調べさせていただきたい。

#### 【委員会における意見の集約】

清掃センターの炭化システムは、導入時において炭化物の有償売却について有利な条件として提示され、判断材料とされた経緯がある。企業側の提案から契約に至る過程の記録を詳細に調査、整理して資料作成を行い一般廃棄物最終処分場の賠償請求及び清掃センターの運営管理委託契約に際しては、その経過を踏まえた交渉を行うこと。

次に、特別会計予算では、次の事項について、特に質疑を行っています。

#### ◎柵口温泉事業特別会計予算 (質問)

予算審査特別委員会参考資料『権現荘の健全化に向けて(分析と今後の取り組み)』の中で、平成23年度以降の取り組みの項目中、検討事項として「抜本的な検討を行う」とあるが、検討の方向性は

かがなのか。

#### (回答)

年間通じてのプランが必要であり、23年度における抜本の見直しについては、できるものから始める。

権現荘の位置付けとしては、地域振興の重要な拠点とされている。色々な条件が作用しているが待ったなしの状態であり、23年度が正念場と考えている。

#### (質問)

柵口温泉センターについて、温泉センターの無償譲渡の話はどうなっているのか。見通しはどうかなのか。

#### (回答)

民間の1者より譲渡希望があったが、国と協議中である。県は了解しているが、農政局はこの先20年間経営を続けられる団体かどうか等について審査を行っており、まだ回答がない。市としては、国に強く要望していくが、国の理解が得られなければ、閉鎖もやむを得ないと考えている。

#### 【委員会における意見の集約】

特別委員会参考資料には、「23年度中に権現荘のあるべき姿、リニューアルの可否、民営化等について抜本的な検討

を行う」としているが、単なる1年間の先送りにならないよう、民営化を含めたあらゆる検討を行って経営改善に取り組むこと。

また、温泉センターの無償譲渡については1者の申出があり、国・県と譲渡の可否について協議中ということであるが、協議を前向きに推し進めて経営の継続を果たすことを強く要求する。

### 常任委員会報告

#### 【総務文教常任委員会】

糸魚川市地上デジタル放送等共同受信施設条例の制定等の条例11件、予算2件、その他2件の合計15議案を審査し、原案どおり可決しました。

#### 【建設産業常任委員会】

糸魚川市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定等の条例3件、予算5件の合計8議案を審査し、原案どおり可決しました。

#### 【市民厚生常任委員会】

糸魚川市手数料条例の一部を改正する条例の制定等の条例5件、予算4件、その他1件の合計10議案を審査し、原案どおり可決しました。